JCL012-12mジブ　強風対策一覧（最大自立高さ）

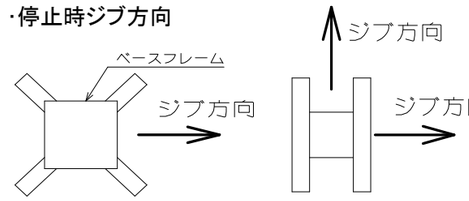
発効日：2025年4月4日版

（1）通常時
・平均風速10m／sを超える風が吹いているときは、作業を中止してください
・作業終了時は、ジブ角度を『45度』にし、旋回ブレーキをかけてください
・瞬間風速30m/s以上の風が吹いた後はクレーン各部に異常が無いか点検を行ってから作業を開始してください

（2）強風時
・風速20m/s以上の強風が予想される場合は、強風対策が必要です
　下記のA～Fの対策のうち条件に合った対策を選択してください
・いずれの対策も旋回ブレーキをかけ、ジブの方向を右図のようにしてください

強風マトリクスの ┆ は旋回ブレーキがすべる境界線、 ═ は弊社取扱煽り止めを表しています
また、受風高さは最大自立高さで検討しています

・停止時ジブ方向

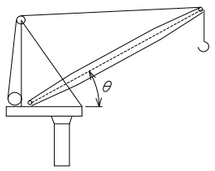


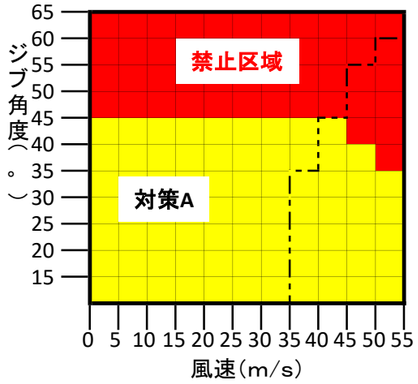
強風時、矢印の方向にジブを向けて下さい
ベースフレームの脚にかかるモーメント
が均等になり、1本の脚にかかる反力が
小さくなります

対策A　（作業終了時姿勢）

巻上フックブロックを巻過防止リミット手前まで巻き上げる

（注）
・ジブ角度によっては風速35m/s以上で旋回します
・フックが暴れてジブが損傷する可能性があります

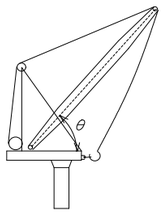


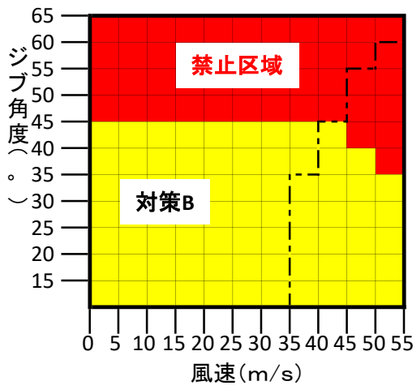


対策B　（フック暴れ防止姿勢）

巻上フックブロックをクレーンに固定する

（注）
・ジブ角度によっては風速35m/s以上で旋回します
・フックが暴れないようにしてください
・本対策を行うには組立前に別途工事が必要です
・張力をかけるとジブが起き上がります
　（煽り止めではありません）

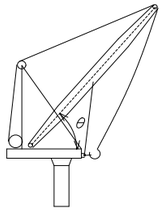


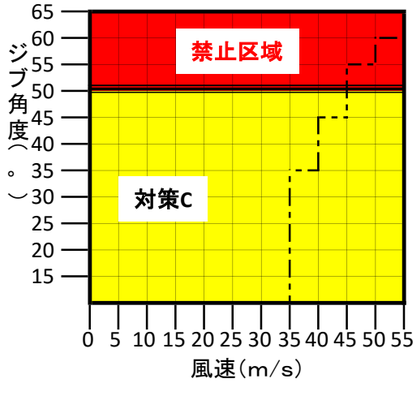


対策C　（ジブ煽り防止姿勢）

巻上フックブロックをクレーンに固定し、煽り止めをつける

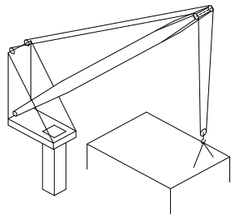
（注）
・ジブ角度によっては風速35m/s以上で旋回します
・フックが暴れないようにしてください
・本対策を行うには組立前に別途工事が必要です

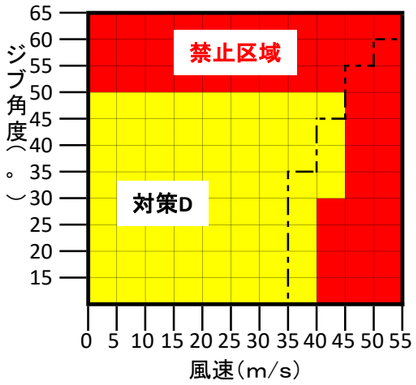




対策D　（地球吊り姿勢）

・巻上フックブロックを強固な外部に固定する
・ジブ角度によっては風速35m/s以上で若干旋回します
※ワイヤの伸びによって、ジブは若干旋回します

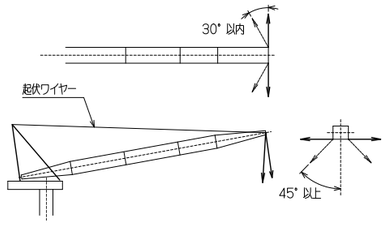




対策E　（ラッシング）

※旋回を許容できない場合に行う

ジブのラッシングを行う



禁止区域対策

・ジブを数箇所、強固な固定物に固縛する
・ジブをクレーンから降ろす